【添付資料】出演者プロフィール

BEYOOOOONDS



2019 年 8 月、メジャーデビュー。
同年 12 月放送の「第 61 回 輝く!日本レコード大賞」では最優秀新人賞を獲得。
所属するハロー!プロジェクトの他グループには無い音楽性を持ち、2023 年 5 月に第一弾となる「BEYOOOOOPHONIC」を開催。アイドルファンだけでなく、多くのクラシックファンからも高い評価を得る。
今年グループ初となる単独アリーナ公演を成功や、新メンバー 3 名を加えて勢いを増すグループのパフォーマンスに注目が集まる。
公式サイト：https://helloproject.com/beyooooonds/

藤原いくろう（指揮・編曲）



指揮者、ピアニストとしてステージ出演をしながら、作編曲家としてアーティストへの楽曲提供、国内外の映画・ドラマのサウンドトラック制作など、その活動は多岐にわたる。2009 年、香港のアカデミー賞と呼ばれる第 28 回香港電影金像奨の授賞式において、音楽監督を務めた『画皮 あやかしの恋』が、最優秀主題歌賞を受賞。作曲した主題歌「画心」は中国の国民的ヒットソングとなり、現在も数多くの映像作品のオファーを受け続けている。その幅広い活動の中でも、とりわけオーケストレーションを得意とし、音楽監督としてポップスアーティストのシンフォニックコンサートを数多く手がけ、高い評価を得ている。
公式サイト：https://ikuro1960.com/

広田圭美（ピアノ）



ピアニスト・コンポーザー。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。
2008 年、「タマトミカ」でメジャーデビュー。2012 年より、ピアノとパーカッションのユニット「227」を結成し、これまでに 4 枚のアルバムと 2 枚のシングルをリリース。
作曲家・ピアニストとして、テレビ、ラジオ、舞台など幅広い分野で活動。『美の巨人たち』（テレビ東京）エンディングテーマをはじめ、『タクラマカン』（秦建日子・徳城慶太演出）、朗読劇『遠き夏の日』（林弘文・新藤栄作演出）、龍角散 CM などの音楽を手がける。
また、庄野真代、大橋純子、松崎しげるなど、さまざまなジャンルのアーティストのサポートピアニストとしても活動。
2023 年、初のソロアルバム『Selfportrait』をリリース。iTunes インストゥルメンタル・トップアルバムで 1 位を獲得。
公式サイト：https://tamamihirotaweb.com/

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団（管弦楽）



1975 年設立。現在、常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫を擁し、定期演奏会のほかオペラ、バレエ、テレビ出演までその活動は多岐にわたる。1994 年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。2021 年 5 月には桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の傘寿記念として「ニーベルングの指環」ハイライト特別演奏会（演奏会形式）を開催し、2022 年 8 月に第 30 回三菱 UFJ 信託音楽賞を受賞。2025 年 4 月に楽団創立 50 周年を迎え、さらなる活躍が最も期待されているオーケストラである。
公式サイト：https://www.cityphil.jp/

日本センチュリー交響楽団（管弦楽）



街に響く。心に届く。
1989 年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、久石譲が音楽監督を務め、2026 年 4 月にアルヴォ・ヴォルマーが首席客演指揮者に就任。名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会のほか、豊中市立文化芸術センターでのとよなかシンフォニックシリーズ、教育プログラムや地域連携事業、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間 200 回を超える公演を行う。2024 年 12 月に楽団創立 35 周年を迎えた。
公式サイト：https://jcso.or.jp